

整理番号	23 - 33	事務事業名	(母子保健推進事業) 母子保健推進員活動事業		作成部署	保健福祉部健康管理課	電話	内線808
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	上村 弘志	課長職名	細川 和夫	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S44	根拠法令等	母子保健法					
" 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	S43異常児を生まない道民運動が提唱され、市町村に対しては地域に母子保健推進員を置くことが勧められた。当時の広島町は将来の人口増、出生数増が予想された事から、母子保健推進員を設置することとした。							

**1 計画(プラン)**

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第 1 章)
	節	健康と医療	(第 1 節)
	施策	保健予防の推進	(第 2 施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	母子保健や育児に関心があり、豊富な知識と経験を有する女性	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	妊娠から出産育児の時期に、連絡役、相談役として関わりながら地域の子育て支援の役割を果たす。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(補助金等の場合は団体等の活動内容)	16年度まで	推進員3名でスタート。昭和54年から30名。妊娠期・出産後各1回訪問するほか、5ブロックに分けて育児交流会を開催して、地域の親子の友達作りの場を提供している。 活動報酬 一人29,400円/年
		17年度	同上

**2 実施(ドウ)**

**【事業費の推移】**

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金	314	543		
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	626	397	940	940
	合計	940	940	940	940
人件費 (概算)	人数(年間)	0.18	0.20	0.18	0.20
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	1,620	1,800	1,620	1,800
総事業費 +		2,560	2,740	2,560	2,740

**【事務事業を評価する指標(ものさし)】**

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	推進員数	30人	30人	30人	30人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	訪問実数	640人	677人	700人	700人
	育児交流会参加実数	92組	77組	90組	100組
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	活動対象となった市民一人当たりの経費 (総事業費 / 訪問・育児交流会参加者の合計)	3,497円	3,634円	3,241円	3,044円

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	家庭や地域の育児力の低下を補う重要な役割が再認識されてきている。虐待予防の役割にも期待が大きい。道内他市町村には類似制度はなく、先進的役割を担っている。
---------------------------------	--

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	行政には地域の育児力向上の役割があり、活動のために個人情報も必要であり、市民、企業で実施することはできない。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	地域の育児支援者の存在は重要であり妥当。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。他の手段や委託化などの可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	当面は妥当である。保健師による新生児全戸訪問が実施できた場合、推進員の訪問時期は再検討が必要。	推進員と協議して、適切な時期を定める。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	推進員の報酬は低い。ボランティア要素の強い活動のため、活動の対象となる市民から費用徴収することもなじまない。	

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	母子保健推進員は原則公募で、みな積極的である。	虐待予防など社会変化に対応する役割を担うために、さらに研修を深める。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	訪問活動は、特に妊婦訪問については訪問拒否が増えており、趣旨が浸透しづらい。	周知の方法を工夫する。

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	虐待予防など社会変化に対応する役割を担うために、さらに研鑽をつむ。 また、妊婦訪問については訪問拒否が増えており、趣旨が浸透しづらいことから、周知の方法を工夫する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	家庭や地域の育児力の低下を補う重要な役割を担っており、虐待予防の役割についても期待されている。現状のまま継続する。